

3. 基本施策・計画指標にかかる中間評価

(1) 食を広める

【行動指針】

食育*を生活の中に根付かせていくために、幅広い情報提供や多くの関係団体と協働して食育を推進します。また、そのための食育活動者の育成及び支援を行います。

①情報の収集、共有、発信

取組	○各関係機関や団体の連携のもと、分野横断的に取り組みながら、情報の収集・共有を行い、広く発信に努めます。
	○食育講演・市報・ケーブルテレビ・教室等により、家庭や学校、企業、地域に積極的にPR活動を進めていきます。

②普及、啓発

取組	○食育月間・食育の日*に関係機関や団体と連携協力のもと食育キャンペーンを実施し、継続的な食育推進運動の周知と定着を図ります。
	○多くの市民が集まるイベント等で食育に関心をもっていない市民も含めて、食育に関する普及啓発を実施します。

(指標項目) 食育に関心を持っている人の割合

1) 目標値と現状値

「食育に関心を持っている人」の割合は80.0%で、策定時と比較して3.5ポイント増加している。

指標項目	策定時	中間評価時	最終目標値
食育に関心を持っている人の割合	25年度 (2013年度)	30年度 (2018年度)	35年度 (2023年度)
	76.5%	80.0%	95.0%以上

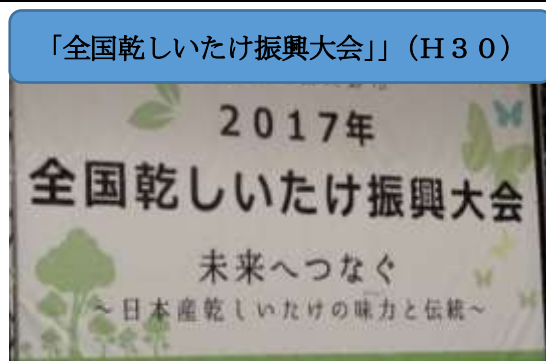
*指標数値：成人アンケート

2) これまでの主な取組

①情報の収集、共有発信

事業・取組	内容	関係課・ 主な関係機関等
食育だよりの発行	<p>レシピや食材の旬・産地、時期に応じた食に関わる注意事項などを掲載し啓発。</p> <p>①学校への発信。(先生方への指導用資料・給食月目標・盛りつけ表・ふるさとメニュー・一口メモなど)</p> <p>②家庭への発信。(食育だより、給食だより、学校栄養職員部会の家庭用レシピ集など)</p>	子育て支援課、 学校教育課、 教育・保育施設、 市内小中学校
広報活動	<p>市報「ぶんごおおの」や市ホームページ、ケーブルテレビ等様々な広報媒体を活用し食育*の普及啓発。 (市報ぶんごおおの)</p> <p>H26年7月号～(奇数月)ぶんごおおの野菜ソムリエクラブ*と市栄養士協働企画「豊後大野 旬野菜おススメレシピ」</p> <p>H27年6月号～食育関連事業の掲載</p> <p>H28年6月号～食育に関わる「人」の紹介</p> <p>H29年6月号～市内小中学校(18校)の食育活動の紹介</p> <p>H31年2月号～食生活改善推進協議会(以下食推協)* (各7支部)の活動紹介 (ケーブルテレビ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育月間*にあわせてケーブルテレビ「インフォメーションマップ」を活用した放送を実施。 ・「ぶんごおおの健康づくり10か条(みんなの行動目標)」*のうち第1～3条に栄養士が出演し、定期的にケーブルテレビ「みてみて ぶんごおおの便利カレンダー」で放映。 	健康推進室
生産者と小学生の交流会	農業体験や招待給食会等を通じて生産者と交流し、市内産野菜、豚肉のPRを行う。	農業振興課・農業青年連絡協議会 (以下ZAC)・市内養豚業者
BUNGOおおのB級グルメマップ(H25, 26年度)	乾しいたけB級グルメ選手権のメニューを食べられる店舗を示したマップを作製、配布。	農林整備課
地域での健康教室	市民を対象に各年代に合わせた教室を開催し、食に関する情報提供。	健康推進室

事業・取組	内容	関係課・ 主な関係機関等
食育講演会	<p>「食育*」に関して、広く市民に啓発し、小中学校の児童・生徒・保護者に対し、食育の大切さについて認識を深めてもらうことを目的に実施。</p> <p><u>H26年12月 健口（けんこう）食育講演会</u> <u>～次世代を担う子どもの歯と食を考える～</u> 第1部 講演「健康は健口から！」をモットーに 講師 大阪市豊田歯科医院院長 豊田裕章先生 （関西「弁当の日応援団・事務局」） 第2部 トークセッション 豊田先生と佐伯市の食育仕掛け人柴田真佑さん</p> <p><u>H27年11月「食で育てる 食でつなぐ</u> <u>～子どもから おとなへと 広がる 食育～</u>」 第1部 豊後大野市の食育を知ろう（活動報告） ・KIN（菌）ちゃんの野菜工場 すがおこども園 ・ぼくのわたしの弁当の日 大野中学校の生徒・保護者 ・学校給食からの発信 栄養教諭* 第2部 講演会「命の授業～食べてつながる命、育つ心～」講師：九州大学持続可能な社会のための決断科学センター 准教授 比良松 道一氏 その他・市内各園、小学校、中学校等の食育活動の展示・里丸シチューの無料配布</p> <p><u>H28年11月豊後大野市次世代を担う「豊後大野っ子」を育てる市民のつどい</u> 講演会「奇跡の命を生きる子ども達と見守り、支えていく大人」 講師 助産師・思春期保健相談士 内田 美智子 氏</p>	<p>健康推進室</p> <p>農業振興課と共催</p> <p>豊後大野市青少年健全育成市民会議・豊後大野市教育委員会等</p>
食育関係者との交流会（H30年度～）	今後の食育活動の幅を広げるきっかけづくりとなるよう、他職種との情報提供の場を設ける。	健康推進室



豊後大野っ子食育標語 表彰式



ふるさとまつり あけあじ健康ぱーく



②普及、啓発

事業・取組	内容	関係課・ 主な関係機関等
食育キャンペーン	<p>食育月間*やふるさとまつりを中心に街頭キャンペーンや各種行事を利用して食育普及啓発用品を作成、配布し、啓発を実施。減塩みそ汁の試飲・県民健康意識行動調査報告*の結果展示・食育標語掲載の野菜の種配付等を実施。</p> <p>豊後大野市食育推進キャラクター「なばっぴー」を活用。</p> <p>*H28～食育SATシステム*を用いて高校生への啓発実施。</p>	<p>健康推進室、豊肥保健所、在宅栄養士会、食育推進作業部会</p> <p>*H28～豊肥保健所</p>
ふるさとまつりでの食育啓発	<p>ふるさとまつりで、ふんごおおの健康づくり10か条*を推進する「あけあじ健康ぱーく」を開催し、食育ブースを設置、啓発。</p>	<p>健康推進室、食推協*、豊肥保健所、在宅栄養士会</p>

3) 課題

- ・子育て世代でもある40歳代の関心がある人が他の年代と比較して低い傾向にある。

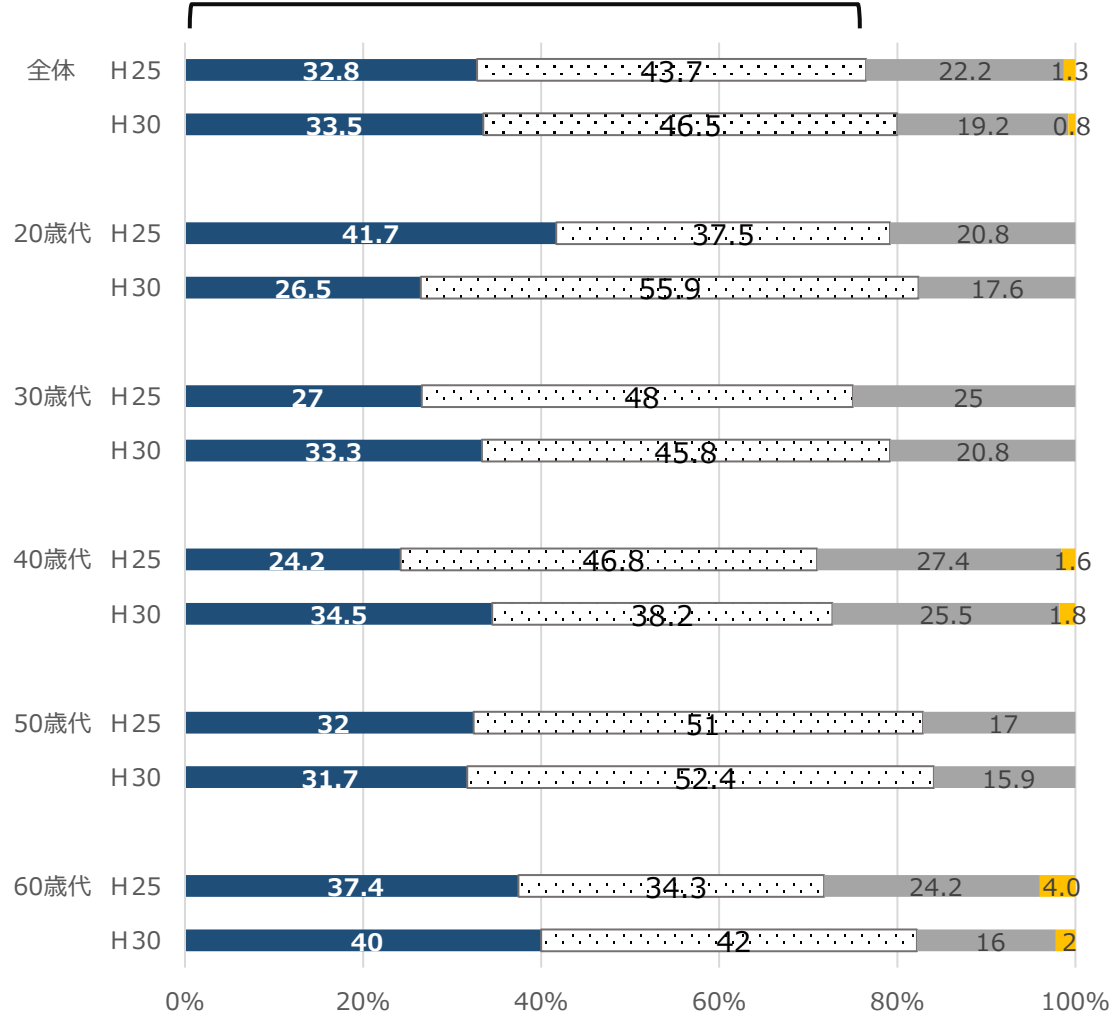
4) 今後の取組の方向性

- ・働き世代である40代の関心を高めるために事業所や保育園・こども園の保護者へのアプローチを強化していく。
- ・「あけあじ減る塩大作戦」*の中に「食育」*の内容を盛り込み、分かりやすい資料作りに努める。

食育に関心がありますか (年次比較)

■ 関心がある □ 少し関心がある ■ 関心がない ■ 無回答

関心がある (小計)



市報ぶんごおおの 食育コーナー

豊後大野市の食育を知ろう

～三重中学校の取り組み～

本紙の食育コーナーでは、読者のみなさんに食育の大切さを伝えるために、三重県立三重高等学校の先生方に協力して記事を作成しています。

「食育とは、食の知識・技能の習得に止まらず、食の文化や食の楽しみ、食の安全や食の環境など、食に関わる様々な側面から食について学ぶことです。食育は、食の安全や食の楽しみ、食の文化や食の環境など、食に関わる様々な側面から食について学ぶことです。食育は、食の安全や食の楽しみ、食の文化や食の環境など、食に関わる様々な側面から食について学ぶことです。

ハッピングプラスマップ

食育は、食の安全や食の楽しみ、食の文化や食の環境など、食に関わる様々な側面から食について学ぶことです。食育は、食の安全や食の楽しみ、食の文化や食の環境など、食に関わる様々な側面から食について学ぶことです。

ケーブルテレビ「インフォメーションマップ」



③食育活動者への育成支援

取組	○食生活改善指導者講習会を毎年開催し、食生活改善推進員を育成します。
	○食生活改善推進員のスキルアップを図りながら、自主活動における支援をおこないます。
	○食育活動者の情報をまとめたリスト（組織、学校、地域個人）を作成し、食育活動を行う際の人材情報を提供します。

(指標項目) 食育活動者の数

1) 目標値と現状値

「豊後大野市食推協*」の会員数は229人で減少している。

指標項目	策定時	中間評価時	最終目標値
食育活動者の数	25年度 (2013年度)	30年度 (2018年度)	35年度 (2023年度)
	270人	229人	500人

*指標数値：豊後大野市食推協会員数

(参考値) 平成30年度豊後大野市活動者数のべ611人

内訳：豊後大野市食推協、女性人材リスト(分野：郷土料理、食育、ぶんごおおの野菜ソムリエクラブ*)、元気もんシェフ、豊後大野市愛育会、おおいた食育人材バンク*(住所地が豊後大野市のもの)、豊後大野市食育推進協議会関係(豊後大野市商工会女性部、大分県栄養士会豊肥支部 豊後大野市地域活動者)

・食生活改善推進委員（ヘルスマイト）・・・70世帯に1人を目標に育成

(出典：日本食生活推進協議会)

2) これまでの主な取組

事業・取組	内容	関係課・ 主な関係機関等
食推協*の活動支援	①食推協各支部のリーダー（約20名）を対象に年4回開催。 ②総会及び食に関する講演の開催 ③自主研修 ④役員会	健康推進室
新規の食生活改善推進員の育成	地区組織活動・食育*・生活習慣病*予防など食に関する幅広い内容の学習を開催。 （10回/年） 修了生 H26年度：20人、H27年度：22人 H28年度：9人、H29年度：18人 H30年度：6人	健康推進室
女性人材リスト作成・活用	H23年度に豊後大野市女性人材リスト作成。登載している方を講師に、市内産の食材を使用した料理教室を開催し、周知を図る。 （登録者数 H30年度80人、そのうち郷土料理*・食育分野は6人）	人権・部落差別 解消推進課
愛育会育成・支援	愛育会員の研修を兼ねた養成講座の開催。 （2年に1回 *H30年度～毎年実施）	健康推進室
元気もんシェフ派遣事業 元気もんシェフ拡大事業 （H27年度～）	養成した「元気もんシェフ」を要請のあった各団体に派遣し、調理を行う。 地域包括ケア拠点施設「ひなたぼっこ」で行われる元気もんカフェにて、元気もんシェフの養成をしながら、元気もんシェフ認定者と月に2回だんご汁とカレーを市民に提供。自立のための個別調理訓練と高齢者にやさしい食事学習会の実施。（登録者数平成30年度時点で延べ19人）	高齢者福祉課
食育アイランド九州交流会 （H27年度）	九州農政局大分地域センター事業。九州各地で様々な食育活動に取り組まれている方々の情報発信と、地域における関係者のネットワーク作りの支援。 ・講演「豊後大野市第2次食育推進計画」 ・豊後大野市の郷土料理「酒まんじゅう」の紹介。 ・ワークショップ「地域の郷土料理を知ってもらおう」	九州農政局 健康推進室

事業・取組	内容	関係課・ 主な関係機関等
食育関係者との 交流会 (H30年度～)	今後の食育活動の幅を広げるきっかけづくりとなるよう、他職種との情報提供の場を設ける。 H30年11月「食育活動者のつどい」を開催し、「腸活レシピ」を普及。 講師 料理研究家 原田とも子 氏	健康推進室

3) 課題

- ・「豊後大野市食推協」新規登録者の減少と退会人数の増加により、会員数が減少していることから、新規会員の育成と会員への支援が必要。

4) 今後の取組の方向性

- ・食生活改善指導者講習会を引き続き行い、活動者数の確保・維持に努める。
- ・食育実践に役立つ情報の発信や活動の場の提供に努め、活動者の支援を行う。
- ・女性人材リストやおおいた人材バンク「食育ひろげ隊」*を利用した教室の開催や市報・ケーブルテレビを用いて、市民へ周知を行う。

食生活改善指導者講習会



栄養士による食推協*への研修会



おおいた食育人材バンク「食育ひろげ隊」を講師に廻を使った食推協への研修



市報ぶんごおおの H30年4月号



食育関係者のつどい

